

基礎看護学実習 I

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座 看護専門基礎講座 地域包括ケア講座 成育看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	実習 60 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

病院や介護現場ではどのような職種の方々が働き、それぞれチームとしてどのように協力し合っているのかを体験的に学ぶ。医療・介護施設で生活している患者・入所者の人々とその人々をめぐる環境への理解を深めるとともに、看護を学ぶ動機となるよう、見学実習を通して、看護の実際を体験的に学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

看護職を目指す者として、病院や介護現場はどのようなところなのか、物理的環境またどのような職種の人たちが働き、それぞれの役割は何かを理解することができる。また看護職がチーム医療の中でどのような役割を果たしているのかを認識することができる。患者・入所者のさまざまな思いを感じることができるようになる。そして、看護師の指導のもと、可能な範囲で既習の看護技術を実施することで看護技術の基礎を学ぶことができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. 看護学生としてふさわしい態度を身につけることができる。
2. 病院や施設で生活している患者・入所者の日常生活はどのようなものか理解し、説明することができる。
3. 患者・入所者の方がどのような思いで日常を送っているのか、考え、表現することができる。
4. 病院や施設にどのような人々が働き、どのような役割を担っているのか、また、その方々はどのように患者・入所者に関わっているのかを知り、説明することができる。
5. 既習の看護技術を指導のもと実施できる。

・ 授業日程
【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
1 週目 10/5 (火) ∩ 10/8(金)			共通基盤看護学講座 看護専門基礎講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 看護専門基礎講座	菖蒲澤 幸子 教授 塚本 恭正 准教授 柏木 ゆさえ 特任准教授 小林 由美子 講師 一ノ渡 学 講師 看護学部全教員 (教授を除く)	<p>1 グループ数名の学生で病院および介護施設において体験実習を行う。</p> <p>1)病院実習 (1)病院オリエンテーションを受ける。 (2)実習病院および病棟内を見学する。 (3)看護師に同行し看護ケアの実際をシャドウイングする。 (4)看護師の指導のもと対象者への援助を体験する。 (5)カンファレンスを通して実習中に感じたことや学んだことを発表し、学びを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院および実習病棟の特徴を理解できる ・ さまざまな職種の中で看護職がどのような役割を果たしているか理解できる ・ 対象者の療養生活を理解できる ・ 講義および演習で学んだ看護技術を看護師の指導のもと実施することができる ・ 看護職者としてふさわしい基本姿勢を述べることができ、看護学生としてふさわしい行動をとることができる ・ 実習体験を通して得た学びを学生間で共有することができる <p>2)介護施設実習 (1)施設オリエンテーションを受ける。 (2)介護施設内を見学する。 (3)介護実践活動を見学・体験する。 (4)施設職員と共に対象者への日常生活援助を体験する。 (5)実習中に感じたことや学んだことについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入所者の日常生活の様子と入所者の思いを説明することができる ・ 施設にどのような人々が働き、どのような役割と関わりをしているか説明することができる
2 週目 10/11(月) ∩ 10/14 (木)					

			<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践において気を付けるべき点を挙げるができる ・介護職員の一員として責任ある行動をすることができる ※詳細は実習要項に記載する。
--	--	--	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学概論 第17版	茂野香おる編集	医学書院	2020
教	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版	志自岐康子 編集	メディカ出版	2021

・成績評価方法

基礎看護学実習Ⅰ評価表に基づき評価する。評価表は実習要項に記載。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

日々の記録を課す。記録を整理してわからなかったこと、疑問に思ったことは、調べたり、確認したりしてそのままにしないこと。看護技術ならびに日常生活援助を実施する場合には事前に学修して確実な技術を提供できるようにすること。これらの事前学修時間は最低1時間を要する。

※記録物の詳細は実習要項に記載する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出されたレポートは、評価後、学生に適宜コメントを付し返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：臨地実習 専門分野Ⅰ 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			